

200 案件以上外注して築いた

外注化マニュアル×ライター様

との上手な付き合い方

～実践編～

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。

できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。

(無料) <https://get.adobe.com/jp/reader/>

◆著作権について

当レポートは、著作権法で保護されている著作物です。使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

◇レポートの著作権は、作者にあります。作者の書面による事前許可なく、本レポートの一部、または全部をインターネット上に公開すること、およびオークションサイトなどで転売することを禁じます。

◇本レポートの一部、または全部をあらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど)により複製、流用および転載することを禁じます。

◆使用許諾契約書

本契約は、レポートダウンロードした法人・個人(以下、甲とする)と作者(以下、乙とする)との間で合意した契約です。本レポートを甲が受けとることで、甲はこの契約は成立します。

第 1 条(目的)本契約は、本レポートに含まれる情報を、本契約に基づき、甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第 2 条(第三者への公開の禁止)本レポートに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。また、本レポートの内容は、秘匿性の高い内容であり、甲はその情報を乙との書面による事前許可を得ずにいかなる第三者にも公開することを禁じます。

第 3 条(損害賠償)甲が本契約の第 2 条の規定に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、違約金として、違反件数と金壱万円を乗じた価格の 10 倍の金額を支払うものとします。

第 4 条(その他) 当レポートに沿って実行、期待通りの効果を得ることができず、万一如何なる損益が生じた場合でも、乙は甲に対して責任を負わないものとする。

もくじ

作業のどこまでをライターさんをお願いするの？	5
外注で損をしないためのネタごとの適切な単価設定 と発注数	12
納期について	13
発注数について	19
単価について	23
契約の時に渡すもの	26
ライター様マニュアルについて	33
ライターさんの教育	36
質の良いライターさんとヤバイライターさんの見極め方	40
ヤバイライターさんとその対策	41
過去に失敗した例と各トラブルに対する対処法 ..	50
外注を利用して利益が上げやすいネタのジャンル	56
どんどん外注にチャレンジしましょう！	60

準備編を読んで外注のイメージができれば、
早速実践的なノウハウを見ていきます。

ここではかなりテクニカルなことも書いているので、何度もチェックして自分のスキルに落とし込みましょう！



作業のどこまでをライターさんをお願い するの？

外注と行ってもいろんなパターンがあります。

まずはブログの作業の中で「どこまでを外注さんにお
願いするのか」について、どんな形があるかを抑えてお
きましょう。

✧ライターさんに完全に丸投げ

ネタ選定も含め完全に記事を書く作業をライターさん
に丸投げする場合です。

WordPress でライターさん専用のアカウントを作って渡しログインできる状態を作ります。

文字の装飾や画像、ツイッターの埋め込みまですべてお願いするので、こちらがするのが契約更新、記事のチェックのみです。

ライターさんにネタ選定以外丸投げ

ネタ選定のみ自分で行います。

その他の作業はすべてライターさんにお願いします。

そのため、上記の丸投げと合わせてライターさんに
WordPress の使い方を教えてあげる必要がありま
す。

WordPress の使い方マニュアルなどを用意しておけば新規にライターさんを雇った時にまた使えるのでおすすめです！

記事のみ作成してもらう

Word などでは記事だけ作ってもらいます。

ただし使用する画像は word に張ってもらい、なおかつツイッターの埋め込みなどは、

Twitter のリンクを埋め込み予定場所に張ってもらうことになります。

(埋め込むツイッターもライターさんに用意してもらう場合)

自分で行うのは記事のアップロード&装飾などです。

ライターさんにはあくまで記事作成のみをお願いするので比較的ハードルは低めです。

記事の一部を作成してもらう

初心者の方はここからトライしてみても良いかもしれません。

例えば 2000 文字の記事をお願いする時に、ライターさんに 2000 文字すべてをお願いするのではなく、1500 文字書いてもらい自分で 500 文字を追加してアップロードする感じです。

自分である程度手直しができるというメリットがあります。

またライターさんとの信頼関係ができてない時でも、自分の手がある程度記事に入るので、安全ではあります。

ただ当然、丸投げするわけではないので、自分の作業は増えます。

✧ 導入部分のみ自分で書く

この他 2000 文字なら導入部分を除いて 1800 文字書いてもらう、という手もあります。

残り 200 文字は導入部分なので負担はほぼないです。

ほぼ作業としては「記事のみ作成してもらう」と変わりません。

✧ タスク記事を貼り合わせる

これは初心者方でもやりやすいかもしれません。

自分である程度記事を作って、そこに「口コミ」として外注の人の文章を載せるという形です。

例えば GW の混雑情報を書くときに、1000 文字ほどは自分で書き、残りの 1000 文字は、タスクで混

雑の口コミを 300 文字×4 つ募集しそれをそのまま貼るという感じです。

「記事の一部を作成してもらおう」と同じで初心者でも取り組みやすいかと思います。

初心者の方はいきなり WordPress の操作もお願いすると大変なので、それ以外の作業**「記事のみ作成してもらおう」「記事の一部を作成してもらおう」**あたりからトライするのがおすすめです。

それでも不安な場合はまずは試しに「タスク記事を貼り合わせる」から始めてみても良いですね！

外注は初心者の方からするとハードルが高く感じます。

しかし募集してしまえば意外と簡単だった、という印象を受ける人も多いと思うので、**まずはできる範囲で行動してみるのがおすすめです！**

それでは外注の概要が見えてきたところで、実践のテクニックに入って行きましょう♪

外注で損をしないためのネタごとの適切な 単価設定と発注数

外注を始めたらずまず気になるのが「適切な単価設定」と「発注数」、「納期」あたりではないでしょうか？



収入 > 支出

納期について

まず納期について。

納期は募集する僕たち側からすれば、なるべく早く納品してもらいたいですよね？？

ただライターさんの事情もあります。

そのためちょうど良い納期はどれくらいか・・・というのが重要です。

個人的にはまずは 1 か月から始めると良いと思います。

1 か月に設定しておけばライターさんからしても「月の給料」的な感覚が出て来るので、お仕事をしやすいです。

ただし【あることを必ず】書いてください。

これを書かないとトラブルに巻き込まれたりなどかなり面倒になります。

そのあることとは**「週ごとの納品数を指定する」**ということです。

例えば 1 か月に 10 記事お願いする場合は

“1 週間に最低 2 記事納品してください”と付け加える感じです。

これをやらないと、こちらはなるべくコンスタントに記事を納品してもらいたいのに、ライターさんによっては**最後の 3 日くらいで一気に 10 記事納品してくるような**人もいます。

そしてもっとヤバいのが最終日になって**「すみません、
やっぱり忙しくて納品できません」**という人です。

信じられないでしょうが、こんな人が本当にいます。

僕が雇ったライターさんにも、納期最終日になってから
**「1 か月入院していたので記事書けませんでした、
仕事は辞退します。」**なんてツツコミどころ満載の人が
いました。

この方は複数雇っていた中の一人なのでほぼ放置し
ていたのですが、こちらもメッセージのやり取りなどで時

間を使っていることを考えると「？？」と思ってしまいました。

ライターさんというのは複数お仕事を掛け持ちしていることが多いです。

本当に残念ですが、キープとしていろんな仕事に手を付けて、手が回らなくなり、高単価の仕事だけやってあとはすっぽかすなんて人も少数ですがいます。

なので「週ごとの納品数を指定する」するべきです。

例えば 1 週目に 2 記事納品など分割してもらえればリスクも減りますよね？？

また 1 週目で納品が来ない場合は、その時点で消えることが多いので、その後連絡が取れない場合はみきって次を探すという手も使えます。

リスクヘッジのためにも必ず「**週ごとの納品数を指定する**」これは徹底しましょう！

発注数について

発注数は予算との兼ね合いで決めるのがおすすめです。

まだ慣れていない人は、**まずは 1 万円なら 1 万円と決めて予算から逆算してスタートしてみるのがおすすめ。**

これならどんなに失敗してもリスクは 1 万円となります。

それでも記事数で決めたいという方は、まずは 10 記事からチャレンジするのがおすすめです。

そして記事数について補足。

発注数が増える場合はある程度ライターさんに振る仕事を分割しましょう。

例えば 50 記事外注するとします。

その場合 50 記事全部を一人のライターさんをお願いしてしまうと、その人にトラブルがあったり、納品してくれなかったりすると大変です。

なので同じ 50 記事でも

・A さん 20 記事

・B さん 20 記事

・C さん 10 記事

などある程度分割してリスクヘッジを行うのがポイントです。

そうしておけば例え一人何かで記事が納品されなくても**残りの記事が上がってくればある程度問題はありません。**

ただいきなり 5 人も 6 人も雇ってしまうと恐らく自分の手が回らなくなります。

そのためいきなり多人数雇うのではなく、少人数のライターさんとの信頼関係を確実に作っていきましょう。

少しずつ「教育」をしていくので、

継続期間が長くなればそのライターさんには手がかからなくなります。

抱えているライターさんが「**ちょっと仕事を覚えてきたな・・・**」と思ったら新たに人員を増やす、というのがおすすめです！

単価について

結論から言うと僕の今の考えとしては文字単価**「0.3円」**が理想かなという感じです。

これ以下にするとあまりにも質の悪いライターさんが来ることが多いですし、
高すぎても勿体ないです。

文字単価 0.3 円だとすれば、2000 文字であれば
1 記事 600 円ほど。
(消費税と手数料別)

10 記事で 6000 円くらいですね。

もし 0.3 円で募集して集まらなそうであればまずは
0.4 円で募集して、

自分の募集実績を増やし、募集実績が増えてきたら
0.3 円などでやってみるのもアリです。

ライターさんからすれば、同じ単価でも募集実績による信頼度も重要なので、**募集実績によっても集まりやすさが大きく変わってきます。**

(次のページへ)

契約の時に渡すもの

先ほど「ライターさんは教育して行く」とお伝えしました。

それではどんな風に教育してくか、というところですよ
ね??

基本的にははじめは書き方を指定したマニュアルを配布することになります。

それを読んでもらった後で実際に書いてもらう記事のキーワードと見出し、内容を記事数分お渡しします。

これはあらかじめこちらで書いて貰うネタとキーワードを選んで置き見出しも自分で作るイメージです。

そして各見出しの下に、その見出しについてどんなことを書いてほしいのかを指定するのがおすすめ。

詳細に指定すればするほどより自分が書いてもらいたい記事が上がってきやすくなります。

なお慣れてきたら**「タイトルとキーワードだけ決めて後はお願いします。」**ということもできますが、これはライターさんが何回か継続して信頼関係ができてからやるのが無難です。

以上が準備できたら早速ライターさんにお仕事を願います。

ライターさんにお渡しする見出しと KW について例を挙げておきますね。

これはメモ帳やワード、エクセルで渡しても良いですしメッセージ欄に直接書き込んでも OK です！

テンプレートとして使ってみても良いですし、自分なりにアレンジして発注する時に活用していただければ幸いです。

例) VTuber 中島キラリの中の人とプロフィールの記事を

1 記事 1800 文字で発注する場合。

メッセージにて////////////////////////////////////

お世話になります、お仕事について以下のキーワードとタイトル、見出しでお願いします。

■内容 1

・記事のタイトル：中島キラリの中の人（声優）

は？ wiki プロフィールについても！

・狙っているキーワード：

「中島キラリ 中の人」

「中島キラリ 声優」

「中島キラリ プロフィール」

<見出し 1>：中島キラリの中の人（声優）は？

中島キラリの中の人についてわかり限りの情報をお願いします。

情報が無い場合はツイッターや掲示板にある予想を集める、もしくは自分の予想を書いてください。

<見出し 2>：中島キラリの wiki プロフィール！

また情報が無い場合、他のわかっていることから推測をお願いします。

プロフィール以外にも学歴や家族、経歴などわかる限り情報を書いてください。

〈見出し 3〉：中島キラリのおすすめ動画は？

あなたがおすすめる中島キラリの動画を一つ挙げて、

その理由やおすすめポイントを自由に書いてください。

ここは最大でも 400 文字以内でお願いします。

■ 注意点、補足

・「ライター様マニュアル」を熟読の上お仕事をお願いします。

SNS やネット情報などを使用する場合、言い回しの変更をお願いします。

・情報収集の際は検索して 1 ページ目の内容（情報）などを網羅していただくとありがたいです。

情報をまとめるだけではなく、ライター様の意見や見解を多く盛り込んでいただくと助かります。

・コピペは厳禁です。

以上、何か疑問点などあればご遠慮なく質問をお願いします。

////////////////////////////////////

ライター様マニュアルについて

それでは初めにライターさんに渡すマニュアルはどういったことを書けば良いのでしょうか？

必要事項は以下の通りです。

- ・契約や注意事項などについて
- ・記事の内容について
- ・その他記事の体裁について

契約や注意事項などについて

募集の際も書いてはいますが、あらためて「文字数は引用の除いてカウント」などを書きます。

記事の内容について

ここには繰り返し使用する記事パターンがあれば、書き込んでおきます。

例えば「プロフィールは表の形を使って下さい」「彼氏情報を書くときは断定はしないでください」といったことです。

また情報収集をする時のコツなども書くと親切ですね。

その他記事の体裁について

リンクの張り方や印象の形式など。上記で設定していないものを補足として書きます。

ライター様マニュアルには正解はないので、ライターさんの記事のクオリティを見ながら少しずつ追記や訂正するのがコツです。

どういったことを書けば・・・という方は付録の「ライターさん様マニュアル」を参考にしてください。

あえてテキストファイルにして書き込めるようにしているので、**ご自身で好きなように追記してくださいね！**

ライターさんの教育

ライターさんとお仕事をするにあたって、いくらお互いが誠心誠意お仕事をしてもコミュニケーションが上手く取れないと**納品物の内容がずれてしまう**ことがあります。

これは相手がベテランでも初心者でも起きることなので、**しっかりしたコミュニケーションが重要**になります。

そして記事を作成してもらう上で、最高のコミュニケーションとなるのが**「添削」**です！

ブログで稼ぐために添削による思考のすり合わせの重要性は、もう語る必要性が無いほど重要であることは理解されていると思います。

手っ取り早く自分が希望する記事を納品してもらうにも**この思考のすり合わせをするのが一番早いです。**

どういうことかと言うと、本契約後の初めの 3 回ほど（だいたい慣れて来るまで）はライターさんに書いてもらった記事は **70 点くらいでも合格**を出します。

そしてその記事を自分がガッツリ書き直して「添削」という形で返します。

この際修正は求めませんが、次回からは「こんなイメージで記事を書いてください」とお願いします。

実際に自分が書いた記事を添削してもらうことで、ライターさんも自分がどういった書き方をすればよかったかがイメージが湧きますし、あちらもなるべく円滑にお仕事をしたいと思っているので添削を重ねるごとにクオリティが上がってくることが多いです。

添削によって 70 点くらいの記事が上がってきたら、修正依頼などをお願いしながら 80 点、90 点と少しずつハードルを上げて行きましょう！

あくまで「**焦らず良い関係を築きながら、じっくり**」を
忘れずに！

ただし添削について補足です。

3 回くらい添削をして全く改善が見られない場合は、
今回のお仕事を終了した時に、**継続依頼をするかど
うか考えた方が良くかもしれません。**

特にまだ慣れていないけどやる気がある、と言ったある
意味ダイヤの原石的なライターさんは、これをやると効
果抜群です。

うまくいけばかなり低単価でクオリティの高い記事を貰
うことができます。

質の良いライターさんとヤバイライターさんの見極め方

お仕事をお願いしているとしても**質の良いライターさん**と**ヤバイライターさん**が出てきます。

ある程度教育で良くなることもあるのですが、一定数どうにもならない人がいるのも確かです。

ここでは質の良いライターさんと、避けて置いた方が良いライターさんの特徴をそれぞれ紹介していきます。

これを念頭に置くことで両者を見極めることができるか
と思います。

ヤバイライターさんとその対策

■とにかくまわりくどい書き方をする

結構こういった人がいます。

中身の無いことを延々と書いて**文字数さえうめれば
良いというスタンスです。**

このライターさんは実はライター歴が長くやり取りがしっ
かりしている人が多いです。

こちらから修正依頼をすると「**何と書けば良いかわからないので答えを例として教えてください。**」と言ってきます。

そしてそれをそのまま納品しきてとにかく時間がかかる情報収集はしたくない、お金だけがほしいという感覚の持ち主です。

目先のお金だけがほしい典型的な「**稼げないライター**」です。

1 度なら良いのですが、毎回のようにこれをしてくる人がほとんどなので正直外注している意味がないですね（汗）

またこのタイプはこちらが発注した仕事よりおいしい仕事があったら速攻で辞めてしまいます。

メッセージやり取り自体は良いので前もって見極めるのはほぼ不可能ですが、記事を納品してもらった時に「これもしかして・・・」と思ったら次回は継続依頼はしないのが無難です。

■ 普通にコピーを出してくる

います、本当に。

こういったライターさんの中にはコピーを咎められるのを全く恐れていない人がいます。

特にタスクのお仕事の時にいるんですが、大量にコピーでお仕事を出してきて怒られたら逃げるというタイプです。

残念ながらこのコピペに気づかない人もいて、そういった一定数のクライアントを狙って大量にお仕事を申し込んでいます。

特徴として承認率や、口コミ評価が以上に低い、アイコンが初期設定のまま、などがあげられます。

プロジェクト形式の場合は絶対に契約しないこと、タスクの場合は確実に非承認にしましょう。

コピペチェッカーに通すのを忘れずに・・・

■ ネット環境が無い・・・という人

これもびっくりですが結構います。

申し込んできて採用したのに納期ギリギリになって「**やっぱりできません**」と言ってくるパターン。

だいたい主張としては「長期入院していた」か「ネットが使える環境にいなかった」です。

もし本当なら連絡してくださいよ！という感じですが、こういったことを言う人が本当にいます。

このパターン的人是とりあえず大量に受注して、単価が良いものだけ仕事をするという人です。

正直許せないかとは思いますがトラブルになると面倒なので「わかりました」と言ってお仕事は中断し、二度とその人には仕事依頼をしないようにしましょう。

こちらも前もって見分けるのは難しいですが、口コミや評価があまりにも低い人は避けるのがベターです。

その他特徴としてアイコンが初期設定、メッセージの返信が遅い（1日に一回など）があげられます。

■ 全くの初心者

ある程度の初心者でやる気さえあれば問題はないのですが、ブログ記事を書いたことが全くない人には要注意です。

こちらで書き方を指定したり何度添削をしても、**全く使える記事が上がってこない場合**があります。

粘り強く続ければ多少は記事の質が上がるかもしれませんが、**こちらが消耗してしまうので**避けるのがベターです。

このライターさんの特徴として、自分から**「全く書いた
ことはありません」**と言ってくる場合が多いです。

誠実な方もいますが、こちらはビジネスでやっているの
である程度は基準に達した記事を書いてもらわなけ
れば困ります。

(次のページへ)

過去に失敗した例と各トラブルに対する 対処法

ヤバイライターさんの見極め方と一緒に、過去に僕が「失敗したな・・・」と思った経験談を書いて行きます。

ぜひしっかりチェックして同じトラブルに巻き込まれないように気をつけましょう！

■ 同じ KW（記事）を発注

これは意外とやりガチです。

ライターさんが少ないと良いですが、雇う人数が増えたりブログを複数運営したすとやってしまいます。

例えば同じ記事を発注しなくても

「××の彼女は？恋愛遍歴も！」みたいな記事をすでに発注しているのに、

「××の彼女は？家族構成も！」のように「彼女」という KW で複数発注してしまうパターンもあります。

必ずエクセルなどに書いたネタ・キーワードはまとめてすぐに見られる状態にしておきましょう。

■ アドセンス NG のキーワードをガッツリ使われる。

ライターさんに渡すマニュアルに必ず「アドセンス NG ワード」は記載してください。

よほど慣れたライターさんでない限り**「アドセンス的に NG」**という概念はありません。

一見大丈夫そうな記事でもガッツリアダルトや暴力関係の KW を使われて修正不能になったことがあります。

例えば「○○のプロフィール！」みたいな記事です。

油断すると「〇〇さん」の過去のエピソードのところで
「昔はヤンキーで何人もの女性と××した～」みたいな
なことを書かれます（笑）

またアドセンス NG のキーワードを指定する場合、その KW の言い換えを書いてあげると親切です。

例えば

・**暴力行為⇒問題行為**

・**××しまくっていた⇒遊んでいた**

など。

募集要項の指定 KW にまで設定する必要はないかな、とは思いますが、

これはライター様マニュアルに書いておけば使いまわせるので楽です。

これを全く指定しておかないと後で非常に面倒になるので注意です！

■ ネタ・キーワード選定を一度にしない

例えば 10 記事発注する場合、一度に 10 記事ネタ選定してライターさんにお伝えした後に急に連絡がつかなくなる場合があります。

これだとネタ選定にかけた時間が勿体ないです。

特に新規で雇ったライターさんの中には、残念ながら一定数急に連絡が付かなくなる人もいます。

10 記事なら良いのですが、**大量にネタ選定した後**
に急にいなくなれたら時間が無駄になります。

そのため特にライターさんからの希望がなければ、ネタ・キーワード選定は**半分ずつおこなって前半と後半で分けてお渡しするのが無難です。**

前半の記事がすべて納品される一歩手前で後半を準備して渡す、という感じですね！

外注を利用して利益が上げやすいネタ のジャンル

基本的にはライターさんが書きやすい記事であればあるほど、安価で質の良い記事を納品してもらいやすいです。

となれば当然「**外注を利用して利益が上げやすいネタのジャンル**と、**そうではないジャンル**」というものができます。

利益が上げやすいジャンルはずばり「趣味」「体験」系です。

趣味であれば

- Youtuber
- VTuber
- その他インフルエンサー
- 漫画、ドラマ

キャンプやアウトドア、車なども趣味系ですがどちらかと言うと「**多くの人が趣味にしている傾向があるもの**」の方が募集が集まりやすい傾向があります。

例えば、今特に Youtube を見ている人が多いことを考えると・・・

あきらかに Youtube を見るのが趣味という人の方が、キャンプが趣味という人より多いですよ
ね??

そのためこういったネタを狙うのがおすすめです！

体験系であれば**季節ネタやショッピング系**など。

こちらは記事作成以外にもタスクを使って口コミを集めやすいのでおすすめです！

季節ネタは特に楽天アフィリエイトや ASP を絡めることもできるので、
稼ぎやすい、という面もあり利益が出しやすいですよ！

(次のページへ)

どんどん外注にチャレンジしましょう！

以上、外注の基礎から応用テクニック、僕の体験談までを書いてきました。

いわきネタに慣れて安定ネタを入れ始めたら、予算を決めてとにかくチャレンジしてみるのがおすすめです。

だいたいみんな「あ～何でもっと早くトライしなかったんだろう・・・」となるので（笑）